



↑ 藤琴地区

A 地域営農ビジョンについては、行政の「人・農地プラン」を元に作成しております。農家の抱えている悩みについて話し合い、地域農業の振興を図ることを目的としております。気軽にJ Aへご相談下さい。

Q 今後、担い手を育成するため現役高校生（農業高校等）たちをもっと農業並びにJ Aの現場や農業イベント（交換会等）に触れさせる活動が必要ではないでしょうか。

A 現在は、野菜センター、メガ団地等で能代西高校生の生徒を研修等で受け入れております。今後も検討してまいります。

Q 役員選任のスケジュールについて教えてください。

A 4月初中旬に協同班長への説明会を行います。4月下旬には役員候補者推薦協議委員会、5月中旬には地区毎の役員推薦委員会を経まして、5月下旬に役員推薦会議を開催し役員候補者を決定します。それを受けて理事会で承認後、6月下旬開催の通常総代会でご承認をいただくこととなります。

Q 飼料用米の販売ルートは確保しているのでしょうか。

A また、J Aで別会社を作って農地集積することができないのでしょうか。

A 飼料米については、全農スキームにより販売ルートは確保されております。

また、農地の移動については行政が行います。農地中間管理機構や農地利用集積円滑化団体と連携し、集積を進めてまいります。

Q 高齢化により、農業法人化が喫緊の課題です。地区外からの耕作者が発生している地区もありますが、J Aが中心となつて地区内の受託者を探すなど対策ができませんでしょうか。

A 行政で作成されている「人・農地プラン」が地区の現状を把握しており、受

託者も毎年公募しておりますので、行政と連携して取り組んでまいります。

Q 団地化など大きいところには補助等があるように小さな農家にも補助を出す仕組みがほしいです。

A きめ細かな対応をお願いします。

Q 地域営農ビジョンにも掲げておりますが、担い手以外の対応やJ Aグループで行う助成制度「産地・担い手応援プログラム」は担い手に限らず助成が受けられますので、ご活用願います。



↑ 山谷・砂子田・榎木岱地区